



だより

〒444-0802岡崎市美合町字並松1-2

Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831

E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



果樹専攻

CONTENTS

- 1 特集 農大の農畜産物 自慢の一品!
- 2 専攻紹介 果樹専攻
- 4 専攻トピックス
- 5 先輩からみなさんへ 農大OB紹介
- 6 研修紹介 農業機械研修
- 7 トピックス
農業高校で指導職員が学生指導手法を学ぶ
農業後継者育成奨学金を本校学生が授与される
生産高度化研修「ナスの生産安定」開催

愛知県立農業大学校
公式HP



SNS

Instagram



Twitter





露地野菜専攻

この甘さにびっくり！ スイートコーン



朝採りの新鮮なスイートコーンは、実習販売では大人気です。品種は、粒が大きくて皮がうすい「ゴールドラッシュ」です。そのままでも食べられるほど、甘くてみずみずしい農大産のスイートコーンをぜひ食べてみてください。

販売時期：5月中旬～11月初旬



施設野菜専攻

とろける食感！ アールスメロン



アールスメロンはとろける食感と強い甘みが特徴。施設野菜ではお盆の時期に直売などで販売を行っています。贈答用の予約販売も行っており、今年も多くの方に購入いただきました。甘くて美味しいと言っていただけのように毎年改良を重ね、美味しいメロンを作り続けていきます。

販売時期：7月下旬～8月上旬



作物専攻

モチモチふっくら ミルキークイーン



農大では初めて栽培する品種です。お米の特徴は、粘りが強く、モチモチふっくらとした食感です。モチモチした粘りのある米が好きな人はもちろん、冷めても美味しく食べられます。流通量も少ない希少な品種なので、ぜひお買い求めください。

販売時期：9月上旬～ なくなり次第終了



切花専攻

染め方に技あり！ 染色切花



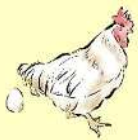
色とりどりに染めた切花は、飾ると楽しい気分になること
うけあいです。実は、色むらや茎の曲がりがないように染め
るのはかなり難しいのですが、私たちが編み出した数々の技
により、きれいに染めることができるようになりました。ぜ
ひ、手にとってみてください。



販売時期：通年

養豚養鶏専攻(養鶏)

世界の卵が食べられる ワールドパック



農大で生産している世界各国原産の鶏の卵を1つのパッ
クにしました。名古屋コーチン（日本代表）、白玉（欧州代表）、
赤玉（北米代表）、烏骨鶏（アジア代表）、アローカナ（南米
代表）。それぞれ色や大きさ、味に特徴があります。
ぜひ味くらべをしてみてください。



販売時期：周年（少量生産のため販売しない場合あり）

鉢物緑花木専攻

クールなインテリア ビカクシダ(板付き)



加工実習で磨いた手法を用いて、今年度から製作・販売し
ています。ビカクシダは別名コウモリランとも呼ばれてい
て、ものに張り付く性質のため、このまま育てられます！
お部屋に立体的に彩ることができるので、植物というよりも
インテリアとして、ぜひ活用してみてください。



販売時期：4月～11月（注文は周年承ります）

果樹専攻

上品な味と香り シャインマスカット



上品な味と香り、皮ごと食べられる手軽さから大人気の品
種です。今年は担当みんなの努力で、例年になく美味しくで
きました。毎回、実習販売でも大好評です。ぜひ、ご賞味く
ださい。



販売時期：8月上旬～9月上旬

専攻紹介

果樹専攻

果樹専攻は、「おいしい果物」につられた(?) 29人(2年生15人、1年生14人)の学生が、県内外から集まっています。

農大の最南端、黄色い鉄門とうっそうとした防風林の奥に4つの温室と7枚のほ場をもつ2.5haの果樹園があります。ブドウ、ナシ、モモ、カキ、ミカン、イチジク、ブルーベリー、アンズ、ウメなど2年生を中心に品目ごとに6つの班に分かれて栽培、出荷・販売実習を行っています。

販売は、市場出荷や毎週水曜日の直売の他、地元の洋菓子屋さんと連携してケーキ用の果実や今年から「おかざきかき氷街道」へかき氷用の果実を提供しています。また、冬場は、収穫しておいた果実を使ったジャムづくりに取り組んでおり農大祭などで販売して大好評です。

ナシ

今田くん



ナシ担当の今田です。ぼくが果樹専攻を紹介します。栽培しているナシの種類は10種類以上!。食べ比べて自分の「推し品種」を見つけてね。

(栽培品種)
愛甘水、幸水、豊水、あきづき、観月など

ハウスミカン



担当者は職人気質。1本、1本、管理を変えて自己満足。この前、喉が渇くって言われてた...

(栽培品種)
宮川早生

ブドウ



ブドウは大好きです。ほぼ全ての品種で「種なし」栽培。房ごとカブリつく夢の「大人喰い」流行ってます。

(栽培品種)
巨峰、シャインマスカット、ゴルビーなど

ブルーベリー



たった3aの小さな畑。でも担当者の度胸は専攻一。たくさんの品種を組み合わせ安定供給に役立ちます。

(栽培品種)
ラビットアイ系、サザンハイブッシュ系各種

イチジク



2年の凸凹コンビ
としっかりものの
1年生が厳選管理。
だから食わず嫌いは怒られちゃう。



(栽培品種)
榊井ドーフィン、
パナーネ

もも

担当者の腕が良い
のか、樹が利口にな
ったのか、近年、
食味が急上昇。



田中くん



(栽培品種)
ちよひめ、日川白鳳、
あかつき など



摘粒



ジベレリン処理



防除



袋かけ



みんなでナシ収穫♪



かん水



ジャムづくり



ブドウとイチジクのケーキ♪



箱づめ



梅収穫



専攻長の
前田君

試食？



いつも行列！実習販売



収穫物の運搬

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

各専攻の様子は、農大のインスタグラム、ツイッターで情報発信しています。

夏は緑肥で土づくり！



夏季の露地野菜の場合は、ナスやスイートコーンなどの果菜類を作付けしている他、土づくりで「緑肥栽培」を行っています。

学生は、緑肥でもプロジェクト活動を行い、生育調査や収量調査を行っています。6月1日に小さな種を蒔いた緑肥「緑肥ソルゴー」も8月12日には、人の高さを遥かに超えるまで成長しました。

しっかりと地中深くまで根を伸ばし、土を耕してくれるので、後作の秋冬野菜の生育も良くなることを期待しています。



育苗中です
次期野菜の準備すすむ



8月下旬から10月の次作の定植時期にあわせて、トマト、ミニトマト、キュウリ、ナスの種まきや接ぎ木を進めており、8月下旬までに約7千粒の種をまき終えました。

夏休み中は1年生のみで作業を行っています。育苗管理については大分慣れた様子で、効率的に作業を進めることができますように、間近に迫った定植に向け育苗を頑張っています。



ドローンによるリモートセンシングを実演！



農大の水田で一番大きい1haのほ場でドローンによるリモートセンシングの実演を行いました。おもちゃのように小さいドローンでしたが、カメラで撮影することで植被率マップや生育量マップをつくることができます。センシング結果から、生育のばらつきに応じて追肥を行いました。学生たちにとっては最新のスマート農業に触れる良い機会となりました。



農大産の果物を提供しています♪
「おかざきかき氷街道」



今年から果樹専攻では、生産した果物を「おかざきかき氷街道」の参加店舗へ提供する取組を始めています。これまでに、モモ、ブルーベリー、ナシ、ブドウの提供を行いました。かき氷街道では、店舗ごとにオリジナルの手作りシロップかき氷を楽しむことができ、中でも農大産の果物を使ったかき氷は、とても美味しいと評判です。今後も果物の提供を続ける予定なので、ぜひ「おかざきかき氷街道」にて、農大の果物を使用したかき氷をご賞味ください♪





お盆向け切花。パックづくりで大忙し

お盆前の実習販売は毎年、お墓参り用の花束を求めめるお客さんでにぎわうので、その日に合わせての花束づくりで大忙しです。花材はキク、ケイトウ、ガーベラ、バラなどや、校内に自生しているシキミ葉を組みあわせて、前日から花束を作り始めました。8月11日の実習販売には、開始前から大勢のお客さんが列をなし、大変な人気で、100束近く売れました。販売を担当した学生も切花のお盆需要に「物日需要はすごい！」と実感していました。



小中学の花壇づくり協力

7月12日、中日新聞社主催の花壇コンクール参加小中学校の花苗栽培指導用の動画撮影に協力しました。学生は、実際に小中学校が栽培する花を種から育て、摘心、施肥、水やり作業について撮影に臨みました。原稿まで準備していましたが、本番ではアドリブも交え、自然な動作でしっかりと説明できました。普段の実習の成果が出せたと思います。小中学生が、うまく花苗を育てられるといいですね。



牛の身体測定で成長を実感

8月、学生は夏休みの中でも、牛は毎日成長しています。酪農専攻では、子牛の身体測定を毎週行っています。それは夏休み中でも変わりません。体重はもちろん、体高、腹囲、胸囲を測定し、発育が順調であるか確認します。生まれたばかりで慣れておらず、なかなか動かない牛もありますが、愛情を持ち、ふれあいながら実施しています。



枝肉の上物率をあげるには……

7月29日2年生4人が豊田食肉地方卸売市場を見学しました。当日は豚の解体を見せていただいた後、農業大学校から出荷した豚の枝肉について市場長から説明を受けました。出荷した豚の73%が「上物」でしたが、学生は「上物」にならなかつた枝肉のどこが悪かったのかを熱心に質問していました。今後は、どのような枝肉になるのか想像しながら豚を育てることになるでしょう。



実習で暑熱対策を実践しています

30℃を超える真夏日が続いており、産卵鶏における生産性の低下が問題となつていきます。このため、農大では鶏舎の屋根の散水、鶏舎内での送風、ビタミン剤の給与、早朝・夕方方の涼しい時間帯での飼料給与等を実施し、夏場対策を行っています。また、卒論のテーマとして、暑熱対策を取り上げ、より良い対策を模索しています。



先輩からみなさんへ

農大OB紹介

荒木 亨さん（22歳）

令和元年度 卒業（切花専攻）

田原市 施設花き（スプレーギク専作）約1.8ha



Q 現在、どんな経営をされていますか

約5,500坪の施設でスプレーギクを両親、祖父母と経営しています。部会では一番大きい規模だと思います。

Q 農大に入ったきっかけを教えてください

小学校の時に品評会で父が作ったスプレーギクが日本一になったのを見て、すごいなあと思ったこと、そして、自分もスプレーギクを作りたいと思いました。そのためには、まず、地元の農業高校に入って、より実践を学ぶために、農業大学校で学びたいと思ったことがきっかけです。

Q 農大の思い出を教えてください

農大での一番の思い出は、東海近畿地区農業大学校スポーツ大会とプロジェクトです。

東海近畿スポーツ大会では2年間ともバスケットボールで参加しました。2年生の時にキャプテンを任されたのですが、1年生の時も優勝するなど農大は何連覇もしている強豪だったのですごくプレッシャーでした。残念ながら優勝できなかったのですが、その時、対戦相手だった他県チームと仲良くなりました。大会が終わった後も遠征して試合をしたり、いろんな話をしたりして今でも連絡しあう仲間です。

プロジェクトは、キクをテーマに「スプレーギクの側芽の除去量と品質」について取り組みました。調査を通じて、植物をしっかりと見る目や管理によって品質が大きく違ってくることなどを改めて考える機会にもなりました。また、花き部門の代表として卒論発表もし、その際の質疑応答



では、いろいろな見方があることもわかりました。この経験は今の栽培管理を工夫する上で役立っていると思います。

Q 農大に入ってよかったことは？

やはり、仲間を増やせたことだと思います。卒業後も、農協や市場に就職した仲間もいて、連絡し合っています。また、地域の先輩農家にもたくさん農大出身者がいて、お世話になっています。

Q 将来の夢とかありますか

今の規模を維持しながら、品質をもっと上げていきたいと思っています。やはり、父のように日本一をめざせるよう、栽培方法などもっと勉強していきたいと思っています。

実は就農して3か月後には、父から260坪のハウスの栽培管理を全部任されました。任されたときは、すごい不安でいっぱいでした、不安な時、部会の仲間や先輩に聞いて情報を集めました。そして、自分で考え、少しずつ自信につながってきています。今は夢に向かって挑戦しています。

Q 後輩へメッセージをお願いします

とにかく仲間づくりをしてほしいと思います。農大ではいろんな地域からいろんな考えを持つ人がたくさんきます。ほんとうに農業が好きな人もきます。農大の中でそんな人と話をして仲間になることで視野がどんどん広がっていくと思います。それが、自分の将来の進路に役立つと思います。そんな仲間をたくさん作ってほしいと思います。



研修紹介

農業機械研修

本校には、農業機械の免許や資格取得、知識、技能を学ぶ農業機械研修施設が整備されています。運転コースは1.3haと広く1周約500mのコースを利用して農大生や農業を始めて間もない農業者などが日々、運転技術の向上に取り組んでいます。



■ 人気の農業機械研修

農業者等を対象に農耕車限定の大型特殊免許、けん引免許取得やトラクター作業の技術習得ができる設備は県内にはここしかありません。



そのため、開催する機械研修の多くは、毎回、定員を越える応募があります。また、トラクターの他、キャタピラー教習所との共催でフォークリフト、バックホウ等の研修も受けられます。



農業機械研修の種類

研修の種類	内容等
大型特殊免許	大型特殊(農耕車限定) 免許の取得
けん引免許	けん引(農耕車限定) 免許の取得
トラクター作業	トラクター作業の技能等習得
フォークリフト	フォークリフト技能講習修了証の取得
小型車両系建設機械	小型車両系建設機械(バックホウ等)特別教育修了証の取得
刈払機	刈払機取扱作業安全衛生教育修了証の取得

大特免許の場合、まず、このコースで3日間、免許取得に必要な運転技術を学びます。その後、県の運転免許試験場から試験官に来校いただき

実技試験を本校で行っています。研修後も、試験日まで自主的に補習を希望する方も多く、3人の先生がやさしくていねいに指導します。このため、高い合格率を誇っています。

■ 学生は、まず農業機械を学ぶ

学生は全員が、入学後すぐにこの施設や研修ほ場で45時限と長い時間をかけて農業機械の運転や耕うん作業を学びます。



学生にとって大型トラクターの高い運転席から見える風景は初めての経験で、ハンドルを回すことやクラッチのつなぎ方などすべてが緊張の連続です。指導をする先生もトラクターの近くや運転コースにある管理室の2階から無線で学生1人1人を指導します。運転が終われば反省点など個別指導も行います。自分ではしっかりできたと思っても、先生は事故につながりかねないミスを見つけます。学生はそのような指導を通じて機械に慣れていきます。

それが自信につながって、実習終了後は、各専攻実習で農作業をしっかりと行うことができます。



農業機械の指導をていねいに行います。少しでも技術が向上できるように指導しますので、ぜひ参加してください。



機械指導担当の本庄、上野、大澤先生

トピックス

農業高校で指導職員が学生指導手法を学ぶ

8月2日（月）本校職員11名が安城農林高等学校を訪問し、学生指導の手法を学びました。当日は、フラワーサイエンス科の当番実習の指導方法を参観したり、全国大会に向けた意見発表会・プロジェクト発表会に参加しました。参観では農高生の挨拶や質問への応え方、発表会ではアイデアと創意工夫、農業に懸ける情熱が伝わる姿に関心させられました。最後に実習指導や意見発表等の指導方法や農業技術指導など意見交換し、学生の指導に活用するための有意義な研修となりました。



農業後継者育成奨学金を本校学生が授与される

8月19日（木）JAあいち中央主催の「農業後継者育成奨学金」贈呈式が開催され、授与者10名のうち本校から4名が奨学金を授与されました。

石川克則代表理事組合長から奨学生全員に奨学金の目録が贈呈され、各奨学生は就農に向けた力強い抱負を述べました。将来の地域の中心的な農業者として活躍されることを期待しています。



生産高度化研修「ナスの生産安定」開催

8月4日（水）ナス生産者など68名が参加し、生産高度化研修が本校で開催されました。県農業総合試験場から「ナスの新系統育成状況」「ナスの環境制御と生産向上技術」「スマート農業実証プロジェクトを活用したキュウリ生産の活性化」、尾張農林農業改良普及課から「地下部のモニタリングによるかん水の改善に向けた取組」の充実した4講演がありました。講演後の討議では積極的に意見交換が行われ、参加者からは「実践的で良かった」などの感想がありました。

